

令和4年9月16日

J A安心倶楽部・充実プランご加入のみなさまへ

共栄火災海上保険株式会社

新型コロナウイルス感染症による「入院の特別な取扱い」の見直しについて

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

当社では、現在、J A安心倶楽部・充実プランにおいて現在実施している入院の特別な取扱い（以下「みなし入院」）について、令和4年9月26日以降の対象を以下のとおり見直すことといたしましたので、お知らせいたします。

<「みなし入院」による入院保険金等のお支払い対象>

令和4年9月26日以降に新型コロナウイルス感染症と診断された方（※1）のうち、重症化リスクの高い以下①～④のいずれかに該当する方（※2）（※3）

①65歳以上の方

②入院を要する方

③重症化リスクがあり、新型コロナ治療薬（令和4年厚生労働省告示第255号）の投与または新型コロナ罹患により酸素投与が必要な方

④妊娠中の方

（※1）疑似陽性者（みなし陽性者）と診断された方を含みます。

（※2）ご契約の始期日に関わらず、同様の取扱いとなります。

（※3）令和4年9月25日以前に診断された方につきましては、上記以外の方もお支払い対象となります。

<今回の見直しの背景等>

J A安心倶楽部・充実プランの医療保険等でお支払い対象となる部位・症状別保険金は、新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、保険約款において「治療日数」（医師が必要と認め、医師が行う治療のために病院または診療所へ入院または通院した日数）に応じて保険金をお支払いすることを定めており、「入院」については「自宅等での治療が困難なため、病院または診療所へ入院し、常に医師の管理下において治療に専念すること」と定義しております。

ただし、新型コロナウイルス感染症と診断され、病院または診療所への入院が必要な状態にもかかわらず、病床のひっ迫等の事情により自宅や宿泊施設等で医師等の管理下で療養を行った場合については、保険約款上の「入院」の定義に該当しないものの、その療養日数を入院日数と同等に取り扱い、部位・症状別保険金をお支払いする「みなし入院」の取扱いを実施しております。

しかしながら、昨今の状況においては、新型コロナウイルス感染症の罹患者のうち重症者の割合はこれまでと比較して低い水準であり、軽症・無症状の方の割合が高まっております。

また、今般、政府より、令和4年9月26日以降、新型コロナウイルス感染症にかかる発生届の範囲を、全国一律に重症化リスクの高い方に限定するとの発表がなされました。

こうした状況の変化を踏まえ、発生届の対象とならない方は新型コロナウイルスに感染したことのみをもって「入院が必要な状態」と判断できないことや、今般の政府における措置等に鑑み、令和4年9月26日以降の「みなし入院」による部位・症状別保険金のお支払い対象を上記のとおり見直すことといたしました。

当社では、医療機関や保健所の負担軽減のために、令和4年9月2日より、保険金のお支払いにあたり療養証明書の発行を必要としない取扱いを実施しておりますが、重症化リスクの高い方であることの確認についても、医療機関や保健所の負担が増加することのないよう留意いたします。

なお、今後法令の改正等がなされた場合は、必要に応じてさらなる見直しを行う場合があります。

何卒ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

以 上